

2025年度 生物多様性ユース会議

あいち生物多様性

みらいMEETING

開催報告レポート

2026年3月8日(日) 8:30~17:00

愛知県内で生物多様性保全に取り組む7つのユース団体が集まり、生物多様性保全活動の現場を知るバスツアーと、行政・大学・企業・ユースで、団体の垣根を超えたグループディスカッションを実施しました。

参加したユース団体

インタープリテーション研究同好会

江蘇省交流プログラム・愛知県ユース

サンパウロ交流会・愛知県ユース

藤前干潟ユース

GAIA

こめこめくらぶ

中部大学第一高等学校



当日の様子

AM 愛知県瀬戸市にある海上の森^{かいしよ}で除伐体験と自然調査を体験！

午前中は、海上の森へバスで向かい、海上の森の自然や歴史について、あいち海上の森センター及び海上の森の会の方から説明を受け、展示を見学して海上の森の自然や歴史について学びました。その後、2つのグループに分かれて除伐体験と「海上の森の宝さがし」と題したいきもの探しを実施しました。

訪問先・海上の森ってどんなところ？

海上の森は瀬戸市南東部に位置する都市近郊林で、豊かな森林と農地、水辺地等を有しています。かつて焼き物の製造のための薪の採取などにより、その一部が樹木の乏しい荒廃地となったこともありますが、多くの先人の努力と自然の力によりその緑が回復された歴史を持ちます。また、海上の森は、2005年の愛知万博会場の予定地でしたが、準絶滅危惧種のオオタカをはじめ、多様な生物の生息地となっており、万博会場として開発することに大きな議論が起きました。このため、森の開発を最小限とし、メイン会場を愛知青少年公園（現：愛・地球博記念公園のあるエリア）とする計画に変更されました。

除伐体験

樹木が生い茂りすぎると森林内に日光が射さないため下草等が生えず、生物多様性が失われるため、人の手による間伐・除伐が必要となることを教わり、日光を遮っている木をノコギリで切り倒しました。



海上の森の宝さがし

「鳥の声」や「におい」などの9つの指標を基に森林を探索しました。ヤブツバキやタゴカエルの鳴き声に春の訪れを感じつつ、シカやイノシシの食害の痕跡を見ながら野生動物の管理の必要性について教えていただきました。



丸太切り

それぞれの活動の後ヒノキの丸太を切り、皮を剥いて鍋敷きを作りました。実際に丸太から切り出して製作することで、自分たちの身の回りのものが、自然の恵みを受けて作られていることを再認識するきっかけになりました。



PM みらい MEETING

それぞれの団体紹介の後、「生物多様性や保全活動をみんなに伝えるゲームを考えよう！」をテーマに、5つのグループに分かれてディスカッションを行いました。話し合いはターゲット層や期待できる効果を想定しながら進められ、身近なものから生物多様性を学ぶゲームや、自然素材を使ったゲームなどのアイデアを考え出しました。

A チーム	「つながりを楽しく学ぼう！くらしといきもの～身近な共存～」	ストラックアウトでヒントをGET！ 生き物同士のつながりを学べるパズルに挑戦！
B チーム	「集めて作ろう！マイ図鑑！！」	生物の写真を撮影して共有し、トレーディングカード気分で遊べる図鑑収集ゲーム
C チーム	「みんなでつくろう 豊かな愛知県」	愛知県を5つのエリアに分け、それぞれの場所で生物多様性に関連したミニゲームに挑戦！
D チーム	「森の探検ゲーム～見つけたアイテムで最強王を目指そう！～」	子ども達に大きさや質感などのお題に合ったものを探してもらい、順番に得点をつける
E チーム	「連鎖で伝える つながる多様性 CHILD」	生物の生息地を当てるパネルクイズ&食物連鎖の正しい組み合わせを知るカードクイズ